

OPINION

熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学 向山 政志

特集●開かれた CKD 看護の模索—意思決定を支援する

〔総 論〕

- | | | |
|--------------------|----------------------|-------|
| 1. 看護における意思決定支援の意義 | 日本赤十字九州国際看護大学慢性看護学領域 | 中村 光江 |
| 2. 透析看護における意思決定支援 | 名古屋大学医学部附属病院看護部 | 高井 奈美 |

〔実践報告〕

- | | | |
|--|--------------------------|-------|
| 1. 保存期患者に対する意思決定支援の実際 | | |
| a. CKD 外来での療養支援 | 近江八幡市立総合医療センター腎臓センター・看護師 | 井本 千秋 |
| b. 治療法選択支援 | 富山市立富山市民病院透析センター・看護師 | 松本 理浩 |
| 2. 腹膜透析患者に対する意思決定支援の実際 | | |
| — 導入・離脱・中断・併用療法選択における支援 | 東京大学医学部附属病院看護部 | 齋藤 凡 |
| 3. 血液透析患者に対する意思決定支援 | | |
| a. 血液透析患者に対する療養支援—精神疾患を有する透析患者の療養生活支援 | 幸善会前田病院腎センター・看護師 | 熊川智恵子 |
| b. 血液透析患者に対する治療法選択支援 | 堺市立病院機構堺市立総合医療センター看護部 | 田中 順也 |
| 4. 腎移植に対する意思決定支援 | | |
| a. 療養支援 | 熊本赤十字病院腎センター・看護師 | 城間久美絵 |
| b. 移植コーディネーターによる支援 | 市立札幌病院・移植コーディネーター | 佐藤 真澄 |
| 5. 高齢透析患者に対する意思決定支援の実際—死の不安を抱く高齢担がん透析患者の「尊厳ある生の終焉」を目標とした看護 | 赤磐医師会病院看護部 | 大賀 由花 |
| 6. ターミナル期にある透析患者に対する意思決定支援の実際 | 淑徳大学看護栄養学部 | 阿部 利恵 |

〔特集コラム〕

- | | | |
|---------------------------|---------------|-------|
| ・リビング・エンディングノート「わたしの手帖」から | 福岡県腎臓病患者連絡協議会 | 中島由希子 |
| ・CKD 治療における意思決定をどう支えるか | 東桑会札幌北クリニック | 大平 整爾 |
| ・事前指示書の課題 | 衆和会長崎腎病院 | 原田 孝司 |

〔連 載〕

- | | |
|------------------------|---------|
| ● ケース・スタディ | 川口 祐輝 他 |
| ● 症例による透析患者の画像診断 | 巽 亮子 他 |

(編集の都合により掲載内容が若干変更となることがあります)

臨床透析 8 月号

〈2017 年 8 月 10 日発行〉

特集／透析医療における情報技術の進歩・展開

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 血液透析装置・システムからのデータ活用 | |
| (1) 日本透析医学会通信共通プロトコルとこれから期待される通信方式 | 芝本 隆 (群馬バース大学保健科学部臨床工学科) |
| (2) 電子カルテとのリンクの可能性 | 江刺 志穂 他 (清永会矢吹病院・臨床工学技士) |
| 2. モニタリング | |
| (1) 循環血液量モニタの活用 | 安藤 勝信 (自治医科大学附属さいたま医療センター臨床工学科) |
| (2) 患者血流量モニタの活用 | 庭山 淳 (庭山医院) |
| (3) 透析量 (透析排液中溶質濃度) モニタの活用 | 森實 篤司 (新生会第一病院臨床工学科) |
| (4) 体流量モニタの活用—透析療法における体流量モニタリングの活用 | 長尾 尋智 他 (知呂舎メディカルサテライト岩倉・臨床工学技士) |
| 3. 災害時透析患者情報の管理 | |
| (1) 個人向け健康医療福祉履歴管理システム | 戸田 尚宏 他 (京都大学大学院医学研究科腎臓内科学) |
| (2) 日本透析医学会災害時情報ネットワーク | 山川 智之 (仁真会白鷺病院) |
| 4. 透析版ビッグデータの活用 | |
| (1) 日本透析医学会統計調査データの戦略的活用 | 政金 生人 他 (清永会本町矢吹クリニック腎臓内科) |
| (2) J-DOPPS | 長谷川 毅 他 (昭和大学研究推進室) |
| (3) MBG-5D | 駒場 大峰 他 (東海大学医学部内科学系腎内分泌代謝内科) |
| (4) Q コホート研究 | 鶴屋 和彦 他 (九州大学大学院包括的腎不全治療学) |